

中田久恵選 投稿数17首

三猿をまねて老いゆく人生を当らず触らず生きる楽しさ
 (評) 非常に含蓄のある短歌である。三猿とは見猿聞か猿言わ猿の意で、これを常に念頭において生き行く姿。又「生きる楽しさ」と結んだところに関根さんの人生が凝縮され完成された人間像を見た感が否めない感動した秀歌である。豊田さん「無言の窓」が利いている。新井愛子さん浅見豊子さん、メダル三八個全選手に誠一杯の拍手を送りたい。決断を下せぬままに立ちつくす無言の窓に雷雨轟く
 強靱な精神力なる体操の内村選手の快挙に喝采
 華麗なる演技素晴らし内村選手表彰台に金メダル光る
 地下鉄に乗り込む男女一様に脱兎のごとく携帯を打つ
 親芋はつひえ子芋を残せしと母の眩き想ひつつ掘る
 ロンドンで感動もらい幕を閉じ夢は未来の東京五輪
 公園の水辺に香る花茗荷君との出会い懐かしむ道
 思い出の初任地巡るなつかしさ変らぬ山と川の流れと
 短歌の道のこと細やかに指導せし亡師の顔鮮明にわが夢にたつ
 水切の水面を滑る心地よさ孫に手ほどき時間を忘れて
 熱戦の五輪最中の広島忌子ら高らかに「平和の誓い」
 職退きて十年を過ぎスパーの総菜買ふも迷うことなし
 巣離れの四羽の子らが電線に並ぶめぐりを親燕飛ぶ
 しとしととふる雨やさし待ちうける百合の花咲き心嬉しや


皆野 関根 助市
 皆野 新井 愛子
 皆野 浅見 豊子
 三沢 鈴木 貞恵
 三沢 新井 民子
 皆野 源氏 和幸
 三沢 長谷河ソノ
 皆野 根岸 詩子
 三沢 新井 叶子
 皆野 保科 従道
 三沢 眞下 杏子
 皆野 市川 岳樹
 三沢 長谷河光久
 山口 勝子

引間豊作選 投稿数21句

半袖の腕の先だけ日焼けして
 (評) 前にも述べたが、俳句は省略の文学である。十七文字の中に思いや感動が込められており、ありふれた言葉のひとつひとつにも、思いが凝縮されている。ありふれた日常生活の中に感動を見出すこともあるだろう。そのような何気ない光景を句にしたためてはいかがだろう。道男氏の句は、長袖シャツでは暑苦しいので、半袖シャツを着用しての外出。容赦なく照りつける太陽に、むき出しの腕が悲鳴をあげる。そして気がつけば、さらけ出していた部分が、可哀相に日焼けしているではないか。
 蹴られ役している爺や夏休み
 庭師去る苑に病葉散らす風
 風を呼ぶ風情に今日の浴衣かな
 袖道や沢にせり出す合歓の花
 落日の畑に鋤振る秋暑し
 炎天にシーサー胸はる島の屋根
 皆野 引間 千鶴
 三沢 長谷河ソノ
 下日野沢 高山 ユウ
 皆野 根岸 詩子
 三沢 新井 民子
 皆野 太幡真由美
 行水の一糸まとわぬ孫を追う
 立秋や間仕切り放つ葬の家
 万緑の中に遙けし宝登の山
 ヘルパーの優しき声や夏の午後
 グラジオラス長い花瓶に活けてあり
 鉢植の鬼灯少し赤くなり
 下日野沢 江野 鑑子
 皆野 佐藤 敏子
 三沢 眞下 杏子
 皆野 関根 助市
 金崎 堀口 輝吉
 三沢 澤野 恒平
 下日野沢 江野 鑑子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 総務課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

期日限定 無料開館



～皆野の歴史の詰まった
 旧農山村具展示館に
 お出かけください～

古きよき時代の民具に接し、時の流れを感じてみませんか。
 期 間 平成24年9月～平成25年3月までの第4日曜日
 時 間 午前10時～午後3時

問合せ 教育委員会社会教育担当
 ☎62-4563

1歳のお誕生日おめでとう



元気で思いやりのある子に育ってね♡



お兄ちゃんが大好きな愛桜ちゃん。仲良く元気に育ってね!



※満1歳の赤ちゃんを募集します。10月号の締め切りは、9月10日(月)まで。ホームページからも応募できます。



いつもニコニコの愛梨ちゃん! 元気で優しい子に育ってね♡